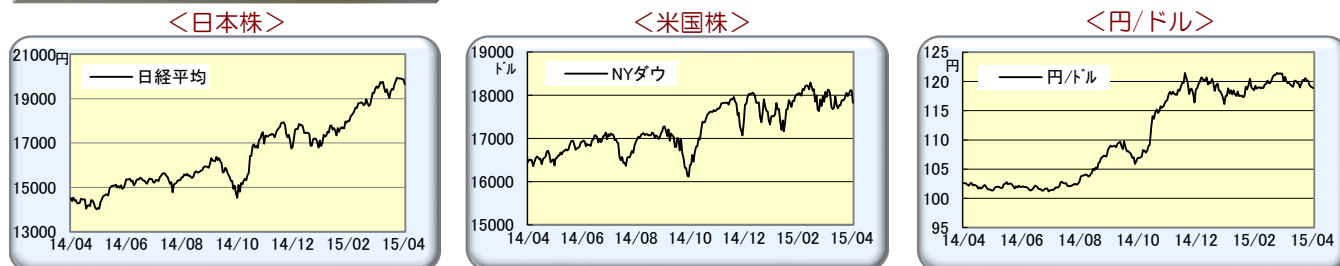


1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2014/12/31	2015/3/31	2015/4/17	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	17,450.77	19,206.99	19,652.88	20,006.00	2015/4/10	8,238.96	2012/6/4
NYダウ	ドル	17,823.07	17,776.12	17,826.30	18,288.63	2015/3/2	12,035.09	2012/6/4
円/ドル	円	119.78	120.13	118.90	122.03	2015/3/10	77.13	2012/9/13

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～日経平均は20,000円目前で2週間振りの下落～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が▲254.75円(▲1.28%)、TOPIXが▲0.85ポイント(▲0.05%)となり、日経平均は20,000円目前で2週間振りの下落となりました。業種別(東証33業種)にみると、石油・石炭製品、鉱業、銀行業など19業種が上昇する一方、食料品、小売業、サービス業など14業種が下落しました。

週明け13日の日本株市場は、円高ドル安に振れたことなどから下落して始まりました。その後は、主要企業の決算発表を控え、様子見ムードから方向感に乏しい中、16日、前日の欧米株市場がECB(欧州中央銀行)政策理事会で量的緩和継続が決定されたことを受けて上昇したことから、日本株市場も反発しました。週末17日は、①前日の米国株市場が市場予想を大きく下回った経済指標の発表などを受けて下落したこと、②円高ドル安に推移したことなどから、日経平均は下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回
4月22日	Wed	日本	貿易収支	3月 -4250億円
4月23日	Thu	米国	新築住宅販売件数(年換算)	3月 539千件
		中国	HSBC製造業PMI	4月 49.6
4月24日	Fri	日本	全産業活動指数(前月比)	2月 1.9%
		米国	耐久財受注(前月比)	3月 -1.4%
		国際	ユーロ圏・EU(欧州連合)財務相会合(25日まで)	

決算発表予定 他	国	内容
	日本	決算発表 : 4/22 日本電産、中外製薬 4/23 JFEホールディングス、野村総合研究所、花王 4/24 三菱自動車、マツダ
	米国	決算発表 : 4/20 モルガン・スタンレー、IBM 4/21 ベライゾン・コミュニケーションズ、ヤフー 4/22 ボーイング、コカコーラ、マクドナルド、AT&T、テキサス・インスツルメンツ(TI)、フェイスブック 4/23 ダウ・ケミカル、プロクター・アンド・ギャンブル(P&G)、ゼネラル・モーターズ(GM)、マイクロソフト、スターバックス、グーグル、キャタピラー、3M

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～日経平均は弱含みの展開～

今週の日本株市場は、先週末の海外株市場の急落を受けて下落して始まった後、弱含み展開が続くと予想します。日銀のETF(指数連動型上場投資信託受益権)購入など公的部門の買支えに対する期待から、下値は限定的と見込んでいます。しかし、①ギリシャ問題の再燃、②空売り規制の緩和や景気鈍化を背景とした中国株市場の調整に対する懸念、③ドル高や原油安等を背景とした米国企業業績悪化への懸念など、先週末にかけて海外で台頭してきた懸念材料が今週も日本株市場の売り圧力になるとみえています。

今週の注目材料としては、本格化する日米企業の決算発表、中国のHSBC製造業PMI(23日)、米国の耐久財受注(24日)、ギリシャ問題が議論されるユーロ圏・EU(欧州連合)財務相会合(24~25日)などが挙げられます。